

佐志中学校だより

東天

Cha Cha Cha

気づき、考え、実行する生徒になろう

令和4年12月 第8号

文責：田中 泰博

～光陰矢のごとし 2学期終了！！～

8月25日から始まった2学期も、あっという間に終業式を迎えました。コロナ感染症は、相変わらずの勢いで世の中を混乱させていますが、今年は、“3年ぶり”という言葉があちらこちらで聞こえてきました。学校行事もその言葉通り、修学旅行や学習・文化発表会、職場体験学習等々、ほぼコロナ前に近い状態で実施できたことが嬉しかったです。生徒たちは、これまで制限されていた活動を自分たちの手で新しく創り上げようという思いで行事に一生懸命に取り組んでくれました。残念ながら、地域の方々はその頑張る姿を披露することはできませんでしたが、公民館での研修会やボランティア活動に参加させていただいたことで、少しは佐志中の様子が伝えられたと思っています。地域の方や保護者からも生徒の姿をほめていただきました。「あいさつをよくしますね」「服のちからプロジェクトを頑張っていたね。」「親切にしてくれます」などなど。このような言葉が、生徒の心により変化を与えていると思います。これも地域や保護者の皆様が、学校に対して深くご理解をいただいている証であり、またご協力いただくお陰だと感じています。不十分なところもありますが、来年も職員一同全力で取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

～恒例！佐志中、今年を表す漢字は??～

毎年恒例の清水寺で揮毫される2022年の世相を表す「今年の漢字」が「戦」に決まりました。「戦」が選ばれるのは、米国同時多発テロ事件の2011年以来、2度目ということでした。理由は、新型コロナウイルス対策やロシア軍のウクライナ侵攻、北京五輪やサッカー日本代表など「様々な戦いがあり、よい意味でも悪い意味でも人々の心に残る戦いの1年だった」という意味だそうです。

では、佐志中の今年を表す漢字は！？・・・それは『**颯**』。

「**颯**」とは、空気が移動する自然現象を表すことばです。しかし、この他に物事の様子や雰囲気を表す表現にも使います。“**颯**貌(ふうぼう)”や“**颯**格”があると言いますね。また、歴史の資料集には“**颯**神 雷神”が載っていますし、今回のワールドカップサッカー選手が目覚ましい活躍は、“**颯**雲児”と称されました。さらに“**威颯**堂々”という熟語は、周りの人々を圧倒するような立派な姿を表しています。まさに**勢いのある者の象徴**を表す漢字です。今年の佐志中生の頑張りは、まさしくその勢いを様々な場面で発揮してくれたと思います。3年生の進路も、このよい**颯**に乗って進めばいいなあ！来年も、今年に負けないくらいの佐志中の**颯**を吹かせて、新しい年を迎えましょう。

～3年生を励ます会、三者面談、二者面談ありがとうございました～

5日から全学年で面談を行いました。お忙しい中にご出席ありがとうございました。3年生にとっては進学先の決定など、かなり緊張した時間になったのではないのでしょうか。今回は、通知表の家庭通信欄を面談という形で伝えさせていただきました。いかがだったでしょうか。また、PTA 保護者部の皆様には、“3年生を励ます会”を開催していただきました。保護者の方



から3年生にメッセージを書いていただき、カツバーガー(チーズバーガー)をいただきました。下級生が書いたメッセージが貼られた大きな絵馬を生徒会から3年生の代表に送りました。私も、3年生が頑張った姿を思い浮かべながら1人1人にメッセージを書かせていただきました。たいへん素晴らしい機会を作ってください、ありがとうございました。

～佐志中生の頑張りです！～おめでとう(*^_^*)

学童美術展 入賞者

県特選 2年 田中 優菜 **県準特選** 1年 岩田 佳東

唐津地区入賞 **入選** 1年 吉川百音 宮崎樹菜 宮崎萌衣 宮本七緒

2年 河原 詩 坂本啓建 末永美侑 竹原寅理 藤井菜摘 小久保小春

3年 飯田結莉 熊本咲希 竹原未悠 堀川結愛 西川望湖 田中香帆 宮崎 神 脇山純希

全国間税会 税の標語入賞者

唐津税務署長賞 **最優秀賞** 3年 木下和奏 **優秀賞** 3年 松田力也

入賞 3年 熊本咲希 太田 和 吉田 苺 堀川結愛

12月9日に間税会会長様、唐津税務署長様が来校され、校長室で入賞者全員に賞状及び楯を手渡していただきました。佐志中生の入賞者が、多数だったということです。素晴らしい！



～門松作りをしました～

12月17日(土)の午前中に佐志公民館と本校で生徒会メンバー・町内会長さん方と一緒に門松づくりをしました。初めての取組で、最初は生徒たちも勝手がわからず右往左往していましたが、会長さん方から細かくご指導していただいたお陰で、竹割りから土入れ、そして飾り付けまで行うことができました。「一度作り方を覚えたら、来年は自分たちで作業ができるね!」「のこぎりの使い方は、こんな風にするんだよ」「自分の孫と一緒に作業しているようで、とても楽しかった。」ということをおっしゃる方もあり、よい交流のひとつとなりました。本校の生徒玄関前に飾っています。地域の方々の本校に対する心温まる思いに感謝するばかりです。来年も佐志校区、そして佐志中生にとってよい年であることを願っています。地域の方々の協力に感謝しつつ、門松を大切にしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。



～特別授業「能」～ 本物に触れる(^_^)

13日に、福岡在住で能楽師の白坂保行さんをお招きして『能』について学びました。白坂さんは、“大鼓方(おおつづみがた)”とあって、実際に能を舞う演者の後方で鼓を奏でる方で、重要無形文化財保持者として全国で活躍されています。生徒たちに、能にまつわるお話や実際の演奏、そして能面まで見せてくださいました。能を舞う時の足運びなども生徒に指導していただき、生徒も難しさを感じながらも楽しんだようでした。



～吹奏楽部『クリスマスコンサート』

21日の昼休みに、吹奏楽部がホールで『クリスマスコンサート』を開きました。クリスマスソングをたくさん演奏してくれました。最近、大活躍中の吹奏楽部ですね！ありがとう！



*3学期の始業式は、1月10日(火)です。よいお年をお迎えください！